

【R6.8.27】令和6年度2学期始業式（校長講話）

○37日間の夏休みが終わりました。今日から2学期の始まりです。みんなはどのように過ごしていましたか？

○それぞれの夏休みがあったと思いますが、私にとっても、夏休みにはいくつかの初体験の機会がありました。ちょっと紹介しますね。

○1つは、韓国ソウルに行ってきたことです。なんと、現在韓国と北朝鮮を隔てている軍事境界線、互いに戦わないという約束をした非武装地帯、DMZと言いますがこの周辺をめぐってきました。歴史的分野で勉強する1950年に始まった朝鮮戦争は、2024年の現在も休戦中ということですので、つまり戦争は終わっていないのです。軍事境界線、非武装地帯周辺の警備や警備にあたる軍人の姿からその緊張感を味わいました。

○もう1つは、北海道旭川を訪れたことです。上川アイヌというところから、先住民族であるアイヌ民族の文化や歴史について、アイヌ民族に係る資料館を巡ったり、アイヌの方々からたくさんお話を伺ったりしてきました。さらに北海道内を移動して、国立アイヌ民族博物館であるウポポイにも寄ってきました。民族の違いによる差別、偏見の歴史に、私は自分の勉強不足を実感しました。

○それぞれにそれぞれの夏休みがあったと思います。仲間どうして夏休みの体験や経験を情報交換したり、2学期の学習に活かしたりするなど、さらにパワーアップした姿を楽しみにしています。そして、何よりも四中のみんなはもちろん、先生たちもみんなが揃ってこの2学期の始業式ができたこと、とてもうれしく思います。

○2学期が始まって早速、1年生はこの木曜日・金曜日に移動教室でハケ岳へ、3年生の京都・奈良への修学旅行は来週です。そして、中間考査の後に、合唱コンクールと続き、忙しくなりそうです。

○一人ひとりが見通しをもって、自分のアイデアを活かしながら生活し、この2学期が充実したものになることを期待しています。